

# 感染対策できていますか？

感染性胃腸炎を広げないための4つのポイント

## 手洗い

感染対策の基本です  
石けんと流水で手を  
よく洗いましょう

食事前、排便後、汚物処理の後  
などはとくにしっかり洗い、  
タオルの共用は避けましょう

正しい手の洗い方  
はこちら



## 環境消毒

次亜塩素酸ナトリウム  
(0.02%) を用いて  
手が触れやすい場所を  
拭いて消毒しましょう

例 手すり、ドアノブ  
エレベーターのボタン  
トイレの水洗レバー  
スイッチ類 など

## 嘔吐物等の処理

使い捨ての防護具を着用後

次亜塩素酸ナトリウム  
(0.1%) を用いて消毒し、  
併せてしっかり換気をしましょう

汚染箇所は放置せず、  
速やかに処理してください

施設全体で予防に取り組みましょう

## 情報の管理

日頃からの健康観察、  
職員間の情報共有を徹底し、  
胃腸炎症状を見逃さない  
ようにしましょう

流行期の嘔吐・下痢は  
感染性を疑って対応すること  
を推奨します

千葉市の流行情報  
はこちら



チェックリストも  
ご活用ください ➡

